

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

※ただし、4月18日に調査を実施していない学校については、4月19日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値とする。

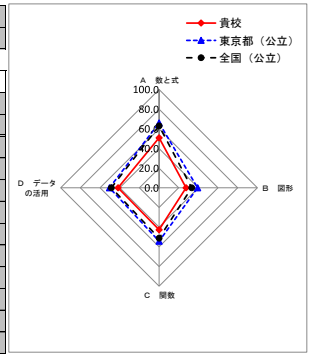
集計結果

対象生徒数		江戸川区立鹿本中学校	東京都（公立）	全国（公立）
		132	71,470	893,114

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			貴校	東京都（公立）	全国（公立）
全体		15	42	54	51.0
学習指導要領の領域	A 数と式	5	50.9	66.0	63.0
	B 図形	3	27.5	39.2	33.2
	C 関数	4	42.6	54.3	51.2
	D データの活用	3	41.7	50.4	48.5
評価の観点	知識・技能	10	49.2	58.7	55.7
	思考・判断・表現	5	28.0	45.8	41.6
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	4	38.8	48.5	45.3
	短答式	6	56.2	65.5	62.6
	記述式	5	28.0	45.8	41.6

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



現状把握(調査問題から見た課題)

・全国、都の正答率を比較すると、どちらもすべての領域で下回っている。

・「学習指導要領の領域」において、「関数」の項目が特に下回っているため、基礎的・基本的な知識・技能の定着が課題である。

・「問題形式」においては、「記述式」の項目が著しく低いため、粘り強く取り組む姿勢が課題である。

指導改善のポイント

・「関数」においては、比較的平均正答率が高い「数と式」と関連付けて授業で扱うなど、工夫を凝らす。  
 ・習熟度別少人数を実施しながらも、個に応じた指導を心掛けて授業展開を行う。具体的には、演習が早く終わった生徒には別の課題を準備する、学び合いを取り入れて取り残される生徒を少なくする、などを実施する。